夕暮れ時の交通事故防止

年間を通じて、交通死亡事故は「夕暮れ時(日没時刻の前後1時間)」に多く発生していますが、日没が早くなる秋から冬にかけては特に増加する傾向があります。

特徴① 秋～冬に死亡事故が多発

特徴② 「四輪車 対 歩行者」が最多

※いずれも千葉県内、令和元年～5年の合計

「四輪車 対 歩行者」の死亡事故が多いのはなぜ？

- 日没が毎日少しずつ早くなる一方、ドライバーは「まだ明るい時間だ」と考え、ライトを点灯するのが遅れる
- 周囲が暗いと、歩行者はドライバーから見えにくくなる
- 暗くなると、四輪車と歩行者はお互いの距離や速度が分かりにくくなる ⇒ 「遠くにいる」「遅く走っている」と錯覚しやすい

- ・ 四輪車が、直前まで歩行者の存在に気づかず衝突する
- ・ 歩行者が「車はまだ遠い」「止まってくれる」と思い込み、横断を開始して四輪車に衝突される

などの事故が発生しています！

Point

近年の9月はまだ夏のような気候が続きますが、日没は確実に早くなり始めます「夏だから明るいという意識」と「実際の季節」のズレに注意が必要です

車を運転する方は

- 薄暗くなる前から**早めにライトを点灯**して、
・ 歩行者などの発見に努めましょう
・ 車の存在を周りに知らせましょう
- 夕暮れ～夜間は**スピードを抑えて、慎重な運転**を心掛けましょう

自転車やバイクも
早めのライトを！

歩行者の方は

- 車はライトを付けていても、暗い場所にいる歩行者に気づいていない場合があります
- ・ 道路を横断するときは、できる限り**横断歩道**を利用し、**必ず左右の安全を確認**してから渡りましょう
- ・ **明るい色の服装や反射材**を身につけましょう